

20171231 「分け合う祝福のパン」

目標： イエス様が与えて下さる新しい生活について、テキストから考える。

聖書箇所：ヨハネによる福音書6章1節～15節 時間：10分

暗誦聖句：「ここに、大麦のパン五つと、さかな二匹とを持っている子供がいます」（ヨハネによる福音書6章9節）

道具： ホワイトボード、ペン、

対象者： 中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点： 子どもたちがこのテキストから聖餐を意識することは難しい。また前回からの流れをテキストに意義づけるのも困難がある。主が与えて下さる救いのイメージとして提示する。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	クリスマスツリーがまだ立っていますね。教会では1月6日まで主の御降誕をお祝います。		当教会では1月6日までクリスマスの飾り付けを残す用にしている。
課題探究	6分	皆さんはクリスマスはいかがでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーファミコンミニをサンタさんにもらった。 ・とても大きなプレゼントをもらった。 ・ケーキがおいしかった 	前回とのつながりを意識させる。
		今日は、イエス様がもたらしてくれた新しい生活という者を、考えてみたいと思います。聖書にこういうお話があります。イエス様に従う人々が多くなってきたあるとき、みんながお腹がすいてしまったことがありました。		課題の提示
		みんなだったらどうしますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・買いに行く ・相談する ・イエス様に言う 	それぞれ、お金はどうする、誰と相談する、等問いを重ねていく。テキストはだいたい普通考えられるような反応については、言及している。
		弟子達が見たところ、男の人だけで5,000人はいたのです。それに見合うパンは、とても高い金額になるだろうと思われました。その中に、自分は大麦のパン五つとさかな二匹を持っているよと弟子の一人にいった子供がいました。いったいそれが何になるでしょう。ところがイエス様は、それを神様に感謝して、みんなに分けようと言われたのです。弟子達が配り始めたところ、全員に行き渡るまでパンも魚も泣くならならず、結局みんなが満腹して、食べ残しは12のかごにいっぱいになったのです。		言ったのは偉いが、全体を潤すのには全く足りない分量だったことを強調する。
		聖書は、なぜそうなったかについては答えません。大切なのは、イエス様の元でみんなお腹いっぱいになったと言うことです。		イエス様のなさりよりの不思議さが印象づけられるように配慮する。
まとめ	2分	このお話は、私達とイエス様との生活をイメージしていると思います。イエス様が養って下さるのです。だから大切なのは、あの少年のように、小さなものでもイエス様にお任せする心です。暗唱聖句		奇跡の詮索を子どもたちはしたがるだろう。だがポイントは、イエス様なら出来るという事であり、みんなが主により満腹した事である。そこに焦点を合わせる。 イエス様にお任せする心を、献身と板書し、理解を助ける。